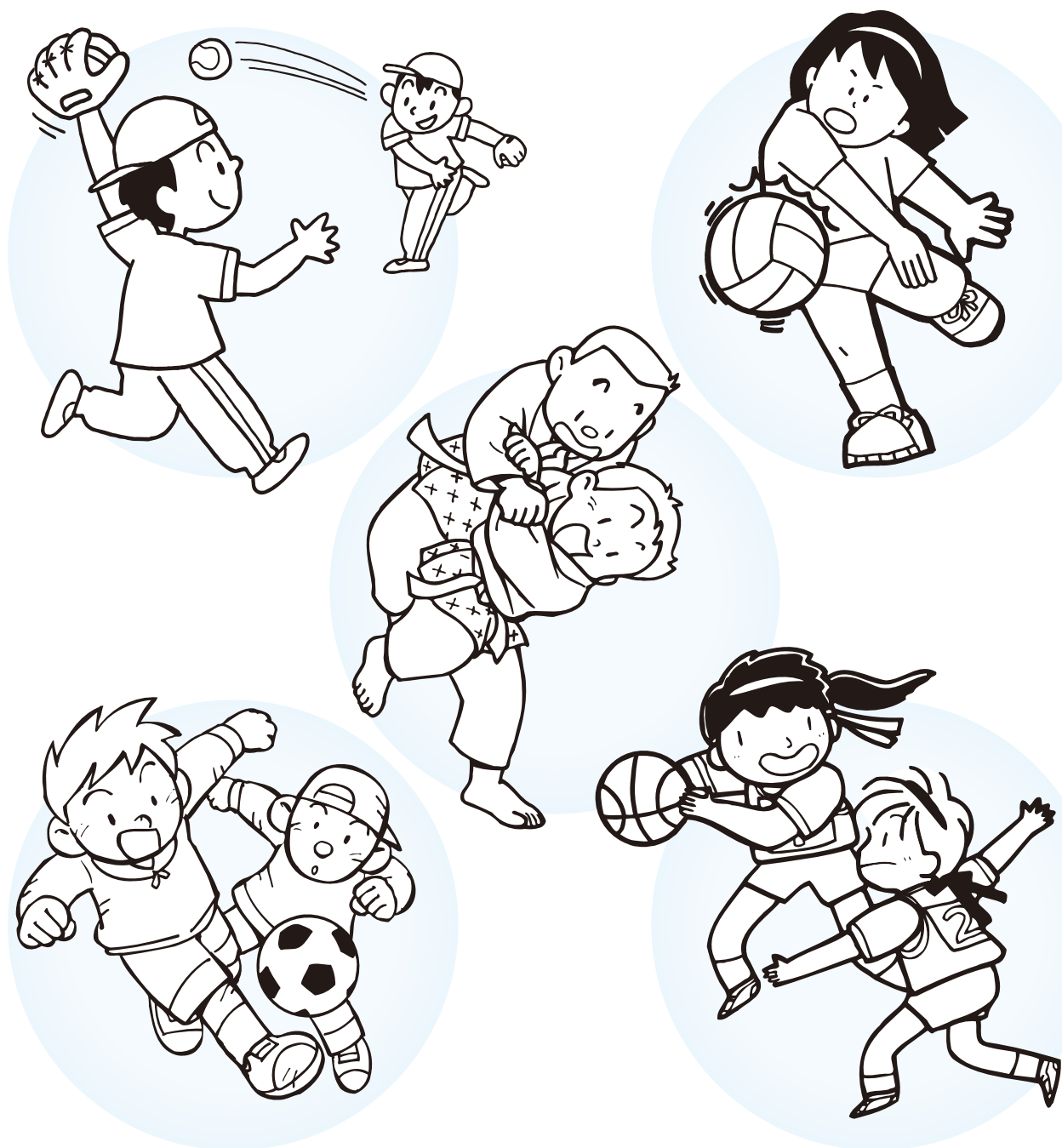


南箕輪村スポーツ推進基本計画

2014～2023

生涯スポーツ社会の実現
豊かなスポーツライフの創造



南箕輪村

南箕輪村スポーツ推進基本計画 目次

2014～2023（平成26年～平成35年）

第1章 南箕輪村スポーツ推進基本計画の概要

1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の性格（位置付け）	2
3. 計画期間	2

第2章 現状と課題

1. 南箕輪村民のスポーツに関する意識調査	3
2. 社会環境の変化とスポーツ推進の課題	6
3. スポーツ推進の課題	7

第3章 基本理念

1. スポーツ推進の目標と基本理念	8
2. 生涯スポーツ社会の具体的なビジョン	9

第4章 基本方策

1. 環境づくり	
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・定着	10
(2) スポーツ設備の整備と有効活用	10
(3) 学校体育施設の整備・利用促進	11
(4) スポーツ施設予約システムの検討	11
2. 人づくり	
(1) スポーツ指導者の養成と活用	11
(2) スポーツ団体の育成・支援	12
(3) 住民一人ひとりのスポーツ意識の向上	13
3. プログラムづくり	
(1) 参加機会の拡充	13

第5章 重点方策

1. 総合型地域スポーツクラブの育成・定着	16
(1) 支援体制の整備・充実	18
(2) 一体的な取り組みの推進	18
2. 地域と連携した、学校体育・スポーツの充実	19
(1) 地域の指導者との連携	19
(2) NPO 法人南箕輪わくわくクラブとの連携	19
3. 高齢化社会に対応した、高齢者活動の促進	20
4. 指導者の掘り起こしと資質の向上	20
5. スポーツ施設の有効活用	20
6. 生涯スポーツ社会の実現に向けた普及啓発	21

第6章 施策概要一覧

施策概要一覧	24
「南箕輪村スポーツ推進基本計画策定の経緯」	26
「南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会」委員名簿	27
「南箕輪村スポーツ推進審議会」委員名簿	27

1. 計画策定の趣旨

南箕輪村スポーツ振興基本計画が平成16年度に策定され、平成16年～平成25年の長期にわたり村民のだれもが、いつでも、どこでも、だれとでも、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康で、明るい豊かな生活が送れる生涯スポーツ社会の実現を目指して、「村民一人ひとりの豊かなスポーツライフの創造」を基本理念として長期的なスポーツ振興基本計画を策定して取り組んできました。

国では、平成23年度（2011）にスポーツ基本法が50年ぶりに全面改正され、前文に「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と明記され、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

また、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」と規定され、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保することが強く求められています。

本計画は、このような課題に応え、村民だれもが生涯にわたってスポーツを親しむことができ、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦等を楽しむこともでき、そして指導者やスポーツボランティアといった「支える（育てる）人」にも着目し、だれもがスポーツに親しむことができる環境を整えるために、新たに「南箕輪村スポーツ推進基本計画」を策定するものです。

2. 計画の性格（位置付け）

この計画は、平成25年度に設置された「南箕輪村スポーツ推進基本計画策定委員会」の報告に基づき、地域住民の参加と理解のもとにスポーツについての共通の新しい目標と方策を定め、本村のスポーツ推進に取り組もうとするものです。

また、本計画は、国の「スポーツ基本計画」「長野県スポーツ推進計画」を参酌し、「南箕輪村総合計画」との整合性に配慮しながら本村のスポーツ推進の基本指針を示すものです。

計画の実施にあたっては、社会的経済的情勢を勘案しながら弾力的に運用するものです。

3. 計画期間

平成26年度を初年度とし、平成35年度までの10年間を計画期間とし、概ね5年を目途に見直しを行います。

なお、計画期間内であっても、新たに計画に盛り込むべき事項が生じた場合は、必要に応じ計画を見直します。

1. 南箕輪村民のスポーツに関する意識調査(平成25年7月実施)

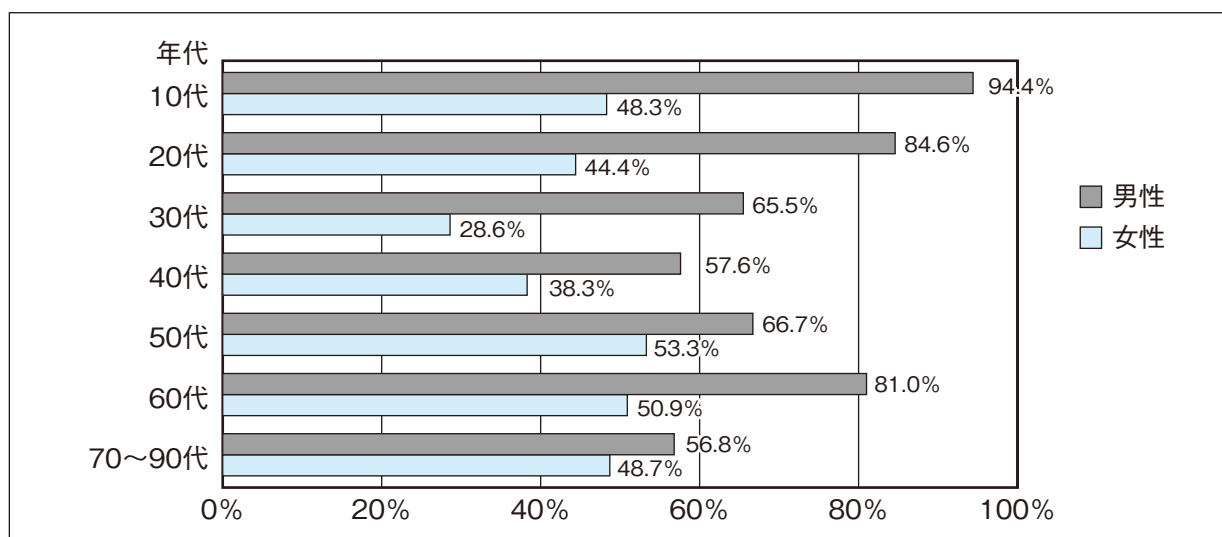
(1) スポーツの実施率

平成25年7月に、18歳以上の村民から無作為に抽出した1,400名を対象にスポーツに関する意識調査を行いました。有効回答数は499名であり回収率は35.6%になりました。

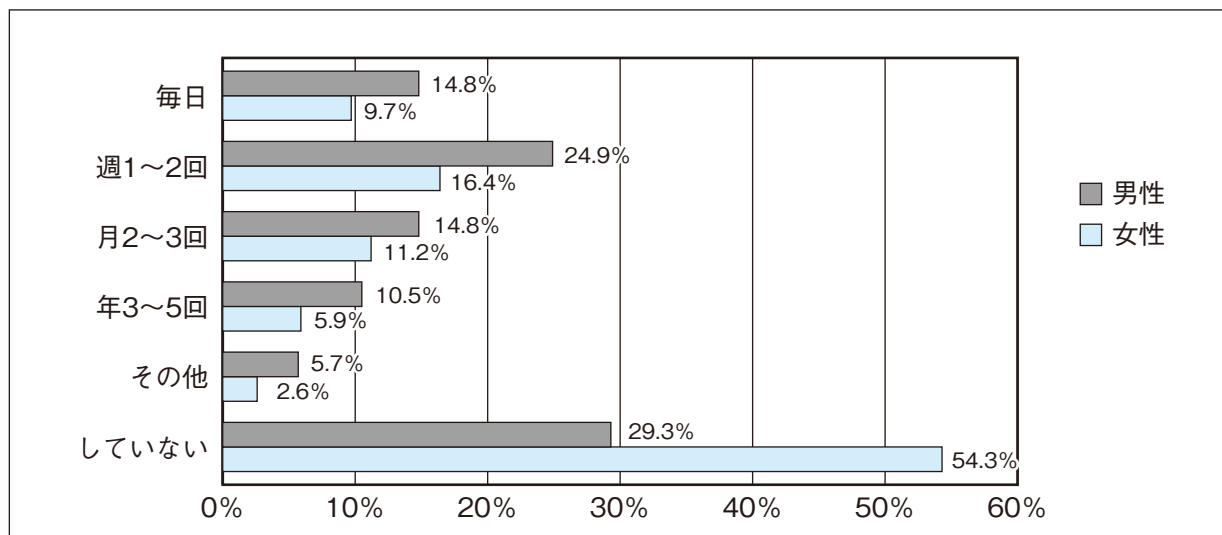
アンケート結果によると、1年間に1回以上スポーツを実施している人は56.9%で前回調査した平成15年度59.8%と比較すると2.9%減少しています。しかしながら、スポーツを実施している人で1週間に1日以上スポーツをした人は全体で56.4%とスポーツの日常化についても高い実施率を表しています。

また、スポーツをする理由が、健康維持(28.7%)、楽しみ(23%)、運動不足解消(17.7%)であり多くの人が健康づくりのためにスポーツを行っていることがわかります。

●この1年間に1回以上スポーツを行った人



●スポーツの頻度

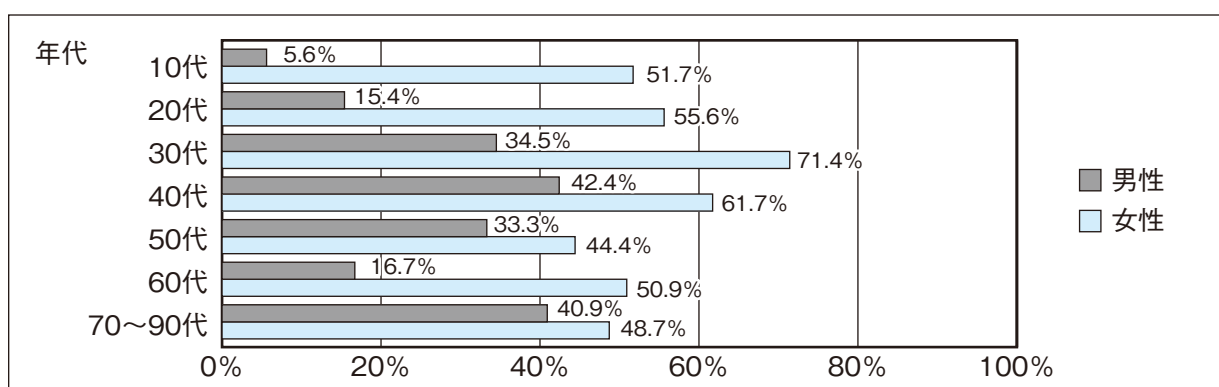


スポーツを行っていない人は、平成 15 年度では 195 名であったが平成 25 年では 212 名で 17 名増加しています。平成 15 年度と同様にスポーツを行っていない人が 30 代～50 代の年代が比較的に多いが、10 代～20 代の女性も多く若い世代のスポーツ離れがわかります。

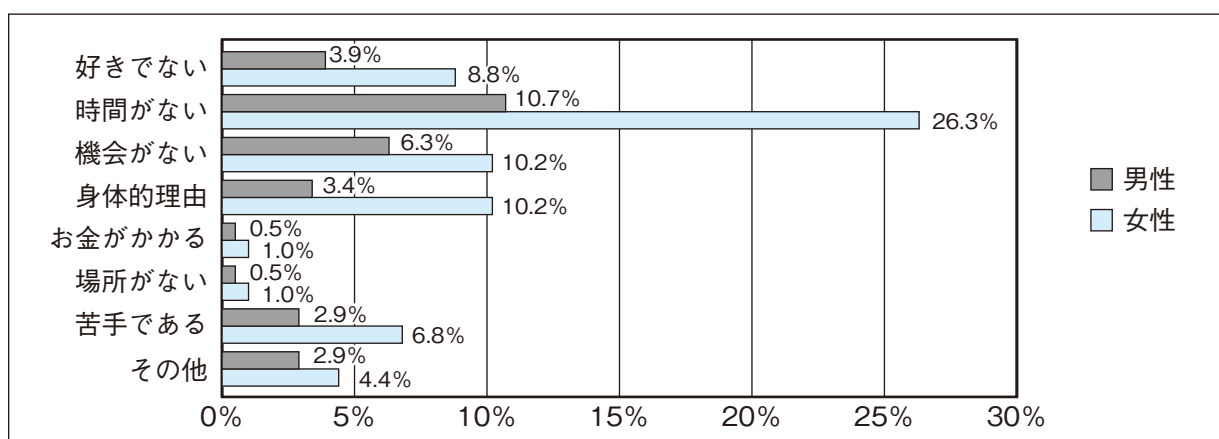
スポーツをしていない理由としては、「時間がない」が多数を占めており、仕事や家庭などでスポーツに時間が割けない状況にあると考えられます。また、「機会がない」、「身体的理由」などの理由も多く、個々のライフスタイルにあったスポーツ機会などを提供することも求められます。

また、スポーツをしていない人のうち 66.9%が今後スポーツを行いたいと考えており、スポーツの必要性は認識しており、今後もスポーツ実施率の上昇が期待されます。

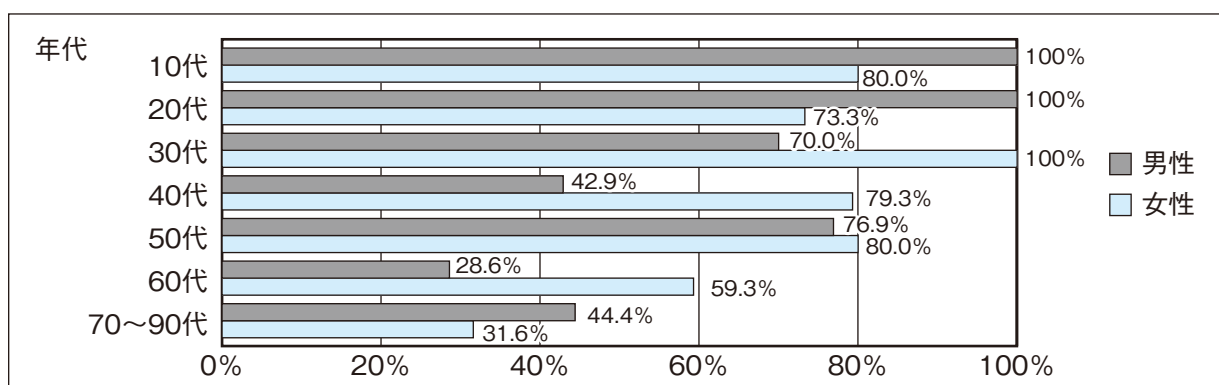
●スポーツをしていない人



●スポーツをしていない理由



●今後スポーツをしてみたい人



《課題》

- スポーツ実施率の向上
- ライフスタイルに応じたスポーツ活動の推進

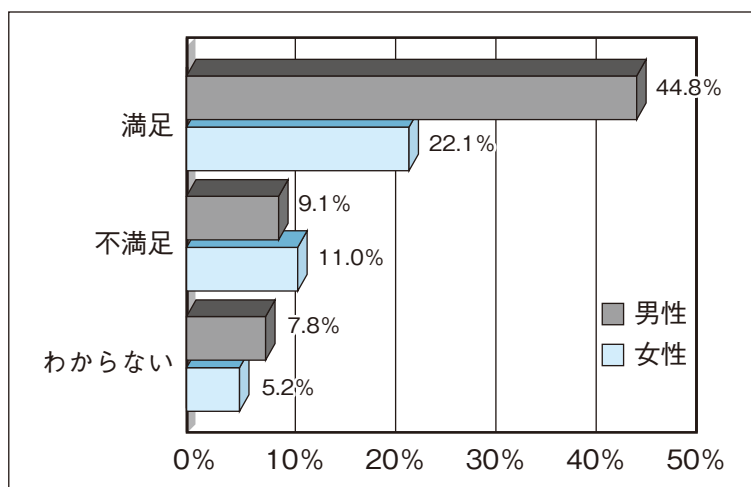
(2) 身近な体育・スポーツ施設の整備充実の取り組み

スポーツ施設の整備は、「南箕輪村総合計画」及び「南箕輪村3ヶ年実施計画」に基づいて進められ、村民体育館のリフレッシュや大芝公園内のスポーツ施設など計画的に整備してきています。さらに、小学校、中学校の学校開放事業を推進してきたことで体育館やグラウンドの有効利用により多くの団体・グループのニーズに応えられるようになりました。

アンケート調査によると村の施設を利用している人は35.4%であります。満足度は66.9%ですが、満足していない方の理由をみると施設や整備に対する要望が多い傾向にあります。

また、将来村のスポーツ施設がどうあればよいかの問に、多くの人が総合スポーツ施設（57.9%）を希望しており施設の整備充実が求められています。

●村のスポーツ施設についてどう思うか



《課題》

- 多様なスポーツニーズに対応できる施設・設備の整備充実
- 老朽化した施設設備のリフレッシュ

(3) 南箕輪わくわくクラブ

平成14年に総合型地域スポーツクラブNPO法人「南箕輪わくわくクラブ」が設立され、子どもから高齢者まで、また、初心者からトップレベルの競技者までの誰もが年齢、興味、関心、技術、技能レベル等に応じて、いつでも、どこでも活動できるようになり、スポーツ愛好者の参加増大につながっています。

○会員数1,441名（平成26年1月現在）

わくわくクラブに加入している人は8.2%であります。満足（55.3%）、不満足（18.4%）、わからない（26.3%）となり会員の理解を得ているようにみえます。また、非会員の方の49.1%がわくわくクラブに加入したいかの問に「わからない」と回答しており積極的な情報発信や広報活動が必要と思われます。

《課題》

- NPO法人南箕輪わくわくクラブへの加入促進
- NPO法人南箕輪わくわくクラブの多種目・多世代型活動の充実
- NPO法人南箕輪わくわくクラブの情報発信・広報活動

2. 社会環境の変化とスポーツ推進の課題

近年、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んだほか、グローバル化に伴い国際的な協力・交流が活発になる一方、国際競争も激化するなど、社会環境や価値観は急激に変化しており、我が村も影響を受けています。

このような変化は、地域住民のスポーツを取り巻く背景やスポーツニーズに様々な影響を及ぼしており、これらの状況に的確に対応した取り組みが求められています。

(1) 人口増加と高齢化社会の到来

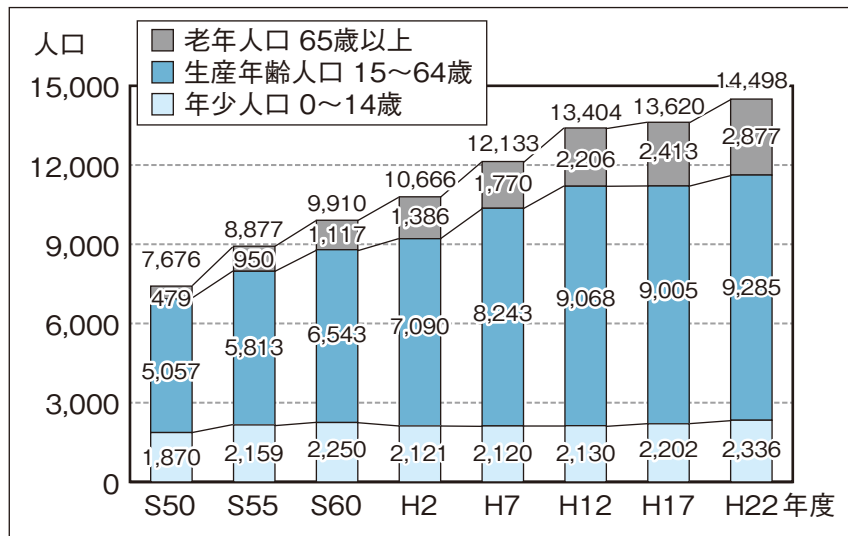
平均寿命の伸長により、人生 80 年時代を迎えています。

南箕輪村においては平成 25 年 9 月 30 日に人口 15,000 人を達しました。平成 25 年 3 月に厚生労働省が発表した人口推計では、南箕輪村では 2040 年の人口が 2010 年よりも増加するとしていて、県内 77 市町村のうち、この 30 年で人口増加が見込まれるのは南箕輪村だけとなっています。

老年人口率（65 歳以上の高齢者が占める割合）も 21.0% と県下で最も低く、若い村であることを証明しています。

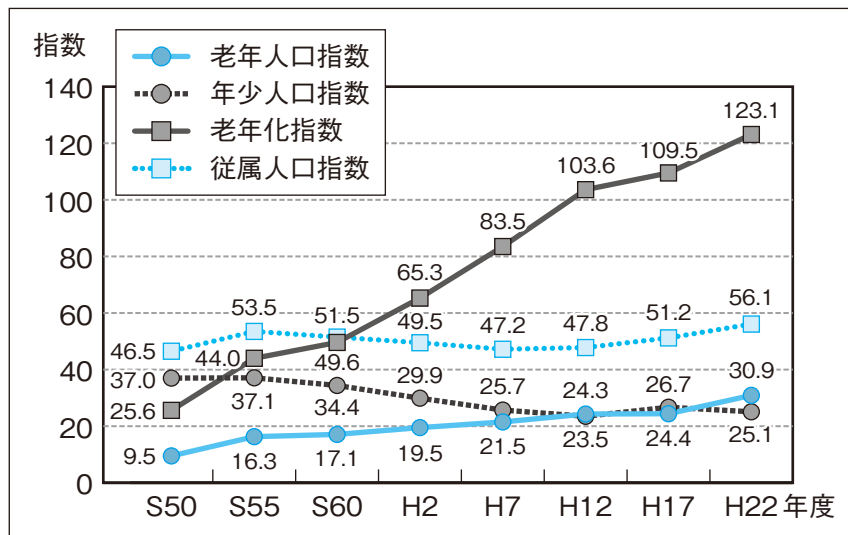
しかし、年々率が上昇し高齢化が進行しており、将来的には超高年齢社会へと突入する状況となっています。

●年齢(3区分)別人口の推移



〔資料：H22 年度 国勢調査〕

●年齢構造指数の推移



〔資料：H22 年度 国勢調査〕

《課題》

- 人口増加に伴い地域社会の空洞化や人間関係の希薄化
- 高齢者の積極的な社会参加を促進する取り組み
- 高齢者の健康や生きがいある豊かな暮らしを支える取り組み

(2) 科学技術の発達と情報化の発展

科学技術のめざましい発達は、生活に利便性や快適さをもたらしているが、その一方で日常生活における身体活動の減少が進行しています。

この現象は、情報通信の発達や生産効率の一層の改善によってさらに加速することが予想され、慢性的な運動不足による生活習慣病の増加、また、若年時発症など、ますます大きな問題となっていくと考えられます。

《課題》

- 運動不足に伴う身体的・精神的問題の予防と改善への取り組み

(3) 生活水準の向上と余暇時間の増大

科学技術の発達や情報化の進展などによる生活水準の向上や自由時間の増大などに伴い、生活のあり方を重視する意識や価値観の高まりもあり、人々のスポーツに対する意欲は、健康・体力の維持増進にとどまらず、人や自然との交流、自己実現の手段として多様化・個性化しています。

《課題》

- 多様なライフスタイルに対応できるスポーツ環境の整備

3. スポーツ推進の課題

本村におけるスポーツ推進の重要な課題は、以下に要約できると考えられます。

- 幼児から高齢者まで村民の誰もが、ライフスタイルに応じて安全にスポーツをいつでも親しむことができる環境を整備し、スポーツの生活化を図るとともに、人や自然との豊かな交流を実現すること
- 計画的に整備された施設を有効活用するとともに、スポーツ指導者やクラブ運営者などの人材の確保・育成を進め、充実した指導体制・運営体制の確保を図ること
- 次世代を担う児童生徒のスポーツ活動を充実させ、心身の健全育成を図るとともに、生涯にわたってスポーツに親しんでいく基礎を養うこと

1. スポーツ推進の目標と基本理念

21世紀の南箕輪村のスポーツ推進の課題は、気軽にスポーツを楽しめる、地域に根ざしたスポーツ環境づくり、心と身体も豊かな人づくりとふれあいがあふれる元気で健康な生活の実現を目指します。

また、南箕輪村総合計画では、将来像を「みんなで創ろう住みよい南箕輪～人・自然・協働～」の実現に向けて、次の5本の柱で新時代のむらづくりを進めます。

これを受けて、この計画では、「生涯スポーツ社会の実現」を目標として掲げます。生涯スポーツ社会とは、村民がそれぞれのライフスタイルに応じてスポーツの持つ多様な意義を享受できる社会であり、その実現のため、「村民一人ひとりの豊かなスポーツライフの創造」を基本理念として、総合型地域スポーツクラブ（NPO 法人南箕輪わくわくクラブ）を中心に行政と共に地域スポーツ推進を図るため、各種施策を推進していきます。

将 来 像

<南箕輪村総合計画>

みんなで創ろう住みよい南箕輪

～人・自然・協働～

- 1 心豊かな人づくりのむら（子育て・教育・文化）
- 2 互いに支えあう、健やかなむら（健康・福祉）
- 3 力を合わせ、未来を拓くむら（自治・協働）
- 4 自然と共に、安心・快適に暮らせるむら（生活・環境）
- 5 活気に満ちたにぎわいのむら（産業・交流）



《目標》 生涯スポーツ社会の実現

基本理念 村民一人ひとりの豊かなスポーツライフの創造

2. 生涯スポーツ社会の具体的なビジョン

生涯スポーツ社会では、多様なスポーツ活動が主体的に展開され、このことによって、スポーツを基盤としたコミュニティの形成や村民生活の活性化が図られる。

(1) 子どものスポーツ機会を充実

子どもの体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育むなど人格の形成に積極的な影響を及ぼし、次代を担う人材を育成します。

(2) ライフステージに応じたスポーツ活動を推進

心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会を実現します。

(3) 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備

人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会を実現します。

(4) 競技力の向上に向けた選手強化、指導者育成の推進

国際舞台や全国規模の大会で活躍できる選手や指導者を育てます。

1. 環境づくり

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・定着

当村では平成14年3月末に総合型地域スポーツクラブ「南箕輪わくわくクラブ」を設立し活発に活動しています。このクラブは、スポーツ活動を核に地域活動や地域交流など地域づくりの重要な基盤になるものであり、地域社会の活性化に大きな期待が寄せられています。

① 目指すクラブの姿

南箕輪わくわくクラブは、地域住民が主体的に運営にあたる地域住民のためのスポーツクラブです。将来的には、次のような特徴を備えたクラブの育成・定着を目指し、支援します。

○住民のニーズに応じた複数の種目が用意されている。

○子どもから高齢者まで、また、初心者からトップレベルの競技者までの地域の誰もが年齢、興味、関心、技術、体力、技能レベルなどに応じて、いつでも活動できる。

○子どもと大人がお互いに交流しながら学びあえる。

○活動の拠点となるスポーツ施設及びクラブハウスがあり、定期的・継続的な活動を行うことができる。

② 育成目標

○NPO 法人南箕輪わくわくクラブ会員 2,000 名以上

(2) スポーツ設備の整備と有効活用

当村では、計画的にスポーツ施設の整備を行ってきましたが、今後は、これら施設の有効活用の方策の検討、また、老朽化した施設のリフレッシュなど住民の多様なニーズに応えうるスポーツ施設整備の調査・研究に努めます。

① 施設・設備の質的充実

○高齢者や障害のある人々への配慮を含め、老朽化した施設・設備の質的充実とリフレッシュを計画的に行います。

○新たな施設整備の必要性を村民のスポーツニーズや他市町村の整備状況、利用状況等をもとに調査・研究を進め、必要に応じ計画的に整備します。

② 管理・運営体制の改善

○利用促進を重視し、開館日や開館時間帯、使用料、申し込み方法などの見直し、改善を図り、村民が利用しやすい施設運営に努めます。

○施設の特長などを考慮し、NPO 法人委託も視野に入れた民間委託の拡大を推進するとともに、それに合わせた適切な管理・運営体制の整備に努めます。

(3) 学校体育施設の整備・利用促進

学校体育施設は、体育の授業はもとより、運動部活動や各種スポーツ活動の場として重要な役割を果たしています。また、地域住民にとって身近なスポーツ施設として地域に開かれた施設になるよう、整備・運営方法を検討していきます。

①施設・設備の質的充実

○学校体育施設の改修、整備を検討します。

②開放エリアの拡大

○学校体育施設開放の促進を行います。

(4) スポーツ施設予約システムの検討

村民が主体的にスポーツ活動に取り組み、健康で豊かな生活を実現するためには、必要なスポーツ施設情報を手軽に入手、発信、共有、活用できることが必要です。このため、スポーツ施設予約システムの検討を行います。

○インターネットを活用したスポーツ施設予約システムを検討します。

2. 人づくり

(1) スポーツ指導者の養成と活用

村民のスポーツ活動の多様化、高度化にともない、指導者に対するニーズが年々高まっています。このため、学校体育・スポーツ、地域スポーツ、アウトドアスポーツ等の各領域において、指導を求める人々のニーズに適切に応えることのできる指導者の養成・確保と資質の向上に努めます。

①地域スポーツ指導者の育成

地域住民のスポーツニーズの掘り起こしやスポーツの生活化を促進していくうえで、地域スポーツ指導者の担う役割が重要となっています。地域スポーツ指導者には次のような資質が求められています。

- a スポーツ技術指導のみに偏ることなく、スポーツの楽しさや交流の喜びなどを伝えることができる。
- b 地域におけるスポーツ大会やイベントなどを企画・立案・運営できること
- c 総合型地域スポーツクラブの育成・定着に主体的に携わることができること

○長野県体育センターで行われる生涯スポーツ研修講座、総合型地域スポーツクラブ育成・支援・定着研修講座への積極的な参加を促すための支援に努めます。

○国・県が主催するクラブマネージャー養成講習会への参加支援に努めます。

○NPO 法人南箕輪わくわくクラブが主催する指導者研修会への参加支援に努めます。

②有資格指導者の養成

個々の能力に応じた指導を行うことのできる優れた指導者、また、競技力向上をサポートする人材を継続的に養成・確保していくことが重要です。

○スポーツプログラマーやスポーツトレーナー、健康運動指導士など専門的な知識・技能を有する指導者の養成を計画的に行います。

③スポーツ推進委員の資質の向上

スポーツ推進委員は、村が委嘱している非常勤公務員です。コミュニティスポーツ指導者として、スポーツ技術指導のほか、スポーツに関する様々な指導・助言、各種スポーツイベントなどの企画・立案・運営に携わるなど、村のスポーツ推進に大きく寄与しています。

これからのスポーツ推進にあたり、総合型地域スポーツクラブの育成が大きな課題となっていることから、スポーツ推進委員には、行政と地域住民を結ぶコーディネーターとしての役割が期待されています。

○スポーツ推進委員の資質向上と各種団体及び相互の密接な連携・協力に基づいた主体的活動を一層推進するため、スポーツ推進委員の活動を支援します。

(2) スポーツ団体の育成・支援

NPO 法人南箕輪わくわくクラブ、南箕輪村社会教育関係団体などのスポーツ団体は、本村のスポーツ普及・推進や競技力の向上の推進母体として大きな役割を担っています。

また、これからのスポーツ推進にあたっては、団体相互の連携・協力のもとに、一体的に取り組むことが不可欠となっています。

このようなことを踏まえ、各団体の自主的・主体的活動を尊重するとともに、各団体がそれぞれの独自性を保持しつつ、より協調してスポーツ推進にあたることができるよう、本村のスポーツ団体の組織が連携強化されるよう推進します。

① NPO 法人南箕輪わくわくクラブ

NPO 法人南箕輪わくわくクラブは、地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブとして、多種目、多世代型のスポーツメニューの提供をはじめ、指導者のもと、個々に応じたスポーツや運動が行えるように、他のスポーツ団体との連携をとりながら活動しています。

○クラブがより自主的に充実した運営ができるよう、国・県の主催するクラブマネージャー養成講習会への参加促進と支援に努めます。

○事業に対する支援と事務局体制が充実・強化されるように指導助言を行います。

○活動が促進されるよう施設利用についての支援を行います。

②南箕輪村社会教育関係団体

南箕輪村社会教育関係団体は、地域住民が主体的にスポーツ活動や文化活動を定期的に行い健康づくりや地域の交流の機会づくりに寄与してきました。地域に密着した形でのスポーツ推進の活性化や体育施設の活用促進などさらに推進できるように支援に努めます。

○スポーツ活動が活性化するように支援に努めます。

○NPO 法人南箕輪わくわくクラブなど関係団体との連携を促進します。

(3) 住民一人ひとりのスポーツ意識の向上

住民一人ひとりがスポーツに対し、興味、関心を持ちスポーツ活動に結びつくよう意識の向上を図ります。

○多様な媒体を利用した情報提供の実施に努めます。

3. プログラムづくり

(1) 参加機会の拡充

参加機会の拡充は、スポーツの普及・推進の重要な要素です。現在、村をはじめスポーツ団体は、それぞれの目的や役割に応じ、様々なスポーツ大会やイベント、スポーツ教室などを開催しています。また、大会への参加支援や交流の推進などに努め、スポーツ人口の増大、競技力の向上はもとより本村のスポーツ文化の創造にも大きく寄与しています。

このような成果を踏まえ、村民のスポーツ活動を一層促進するため、村民誰もが、それぞれの目的や能力、好みに応じて主体的に参加できる多様な機会の提供が求められています。

①スポーツ大会・イベントの開催

村民が主体的に参加できるスポーツ大会やイベントは、参加者が共通のルールのもとに、普段の練習の成果を発表することや交流することができるなど、大きな意義を有しています。また、競技スポーツでは、持てる力を最大限に発揮する中で成長を遂げる大きなステップとなるものであり、競技力向上に大いに資するものです。

○村民体育祭・村駅伝競走大会などの充実

村では、関係団体と協力し、村民体育祭、村駅伝競走大会を開催しています。これらの大会は、本村の代表的なスポーツ行事として村民の幅広い層に定着していることから、村民の要望や大会の目的、性格などを踏まえ、内容の充実を図り、今後も継続して開催します。

○スポーツ大会・イベントの開催促進

NPO 法人南箕輪わくわくクラブに対し、地域住民のスポーツ活動に密着した大会やイベントの開催・充実を促進します。

②スポーツ教室の充実

スポーツ教室は、スポーツを始めるきっかけをつくる活動として大変重要な役割を果たしています。また、地域住民の健康の保持増進や相互の交流に果たす意義も大きいことから、NPO 法人南箕輪わくわくクラブを中心に様々な教室が開催されています。

○スポーツ教室の開催促進

NPO 法人南箕輪わくわくクラブに対し、スポーツ教室の開催を促します。また、誰もが継続して参加できるプログラムや、幼児から高齢者までの世代交流が可能なプログラムなどの展開を促進します。

○高齢者活動プログラムの作成・普及

高齢者のスポーツ参加を促進するため、各種スポーツを無理なく楽しむための活動の指針となる、年齢や体力に応じたプログラムを作成するとともに、普及に努めます。

③全国大会などへの参加の支援

本村を代表する選手が、県・全国レベルの大会で活躍する姿は、村民を勇気づけ、夢と希望、そして誇りを醸成します。村民生活の活性化や郷土愛を育むうえにおいても重要な役割を果たしています。

競技スポーツや地域スポーツを積極的に推進していく観点からも、村を代表して出場する選手を支援します。

④スポーツを通じた交流事業の推進

スポーツによる交流の意義は、地域の相互理解を深めることにおいて益々高まるものと考えられます。

○他地域のスポーツ団体との交流を深め、内容の充実に努めます。

⑤スポーツを支える活動の促進

「するスポーツ」の他に、大会やイベントの運営などにスポーツボランティアとして関わることで、生きがい、満足感を感じている人々が増えてきています。

また、規模の大きな大会、スポーツイベントなどの開催では、スポーツボランティアの存在は、不可欠となっています。

スポーツを通じた社会参加の一形態として、スポーツボランティア活動を積極的に推進していくことが求められています。

重点方策 ～スポーツ推進の総合的な取り組み～**《重点方策では》****1. 総合型地域スポーツクラブの育成・定着
(NPO 法人南箕輪わくわくクラブ)**

地域住民が身近なスポーツ施設で、気軽にスポーツを楽しむことができるクラブづくりをすすめます。

2. 地域と連携した学校体育・スポーツの充実

児童生徒の体育・スポーツ活動の充実と健全育成を図るため、学校相互、学校と地域との連携を促進します。

3. 高齢化社会に対応した、高齢者活動の促進

関係団体と連携し、高齢者が元気に暮らせる環境づくり施策を推進します。

4. 指導者の掘り起こしと資質向上

住民のスポーツニーズに対応できる指導者を積極的に掘り起こし、活用するとともに、質の高い指導者の育成に努めます。

5. スポーツ施設の有効活用

施設・設備のリフレッシュを計画的に行い、利用促進につなげ、また住民のスポーツニーズに対応した施設について、調査・研究します。

6. 生涯スポーツ社会の実現に向けた普及啓発

生涯スポーツ社会の実現に向けて、住民一人ひとりが自らの関心や体力に応じて、スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる普及啓発活動を実施します。

1. 総合型地域スポーツクラブの育成・定着

(NPO 法人南箕輪わくわくクラブ)

地域住民が身近なスポーツ施設で、気軽にスポーツを楽しむことができる
クラブづくりをすすめます。

村民のだれもが、身近な公共スポーツ施設や学校体育施設を利用して、それぞれのライフスタイルに応じて、多様なスポーツに主体的・継続的に親しむことができるようにするため、スポーツ推進の三要素である「環境」・「人」・「プログラム」を統合して運営される組織が「総合型地域スポーツクラブ」です。

「総合型地域スポーツクラブ」は、スポーツ活動を核としながらも、地域活動や地域交流、ボランティア活動などの主体として、地域づくりの重要な基盤となるものであり、地域社会の活性化に大きな期待が寄せられています。

地域で育まれる生活文化としてスポーツを推進し、生涯スポーツ社会を実現していくため、NPO 法人南箕輪わくわくクラブの育成・定着を支援します。

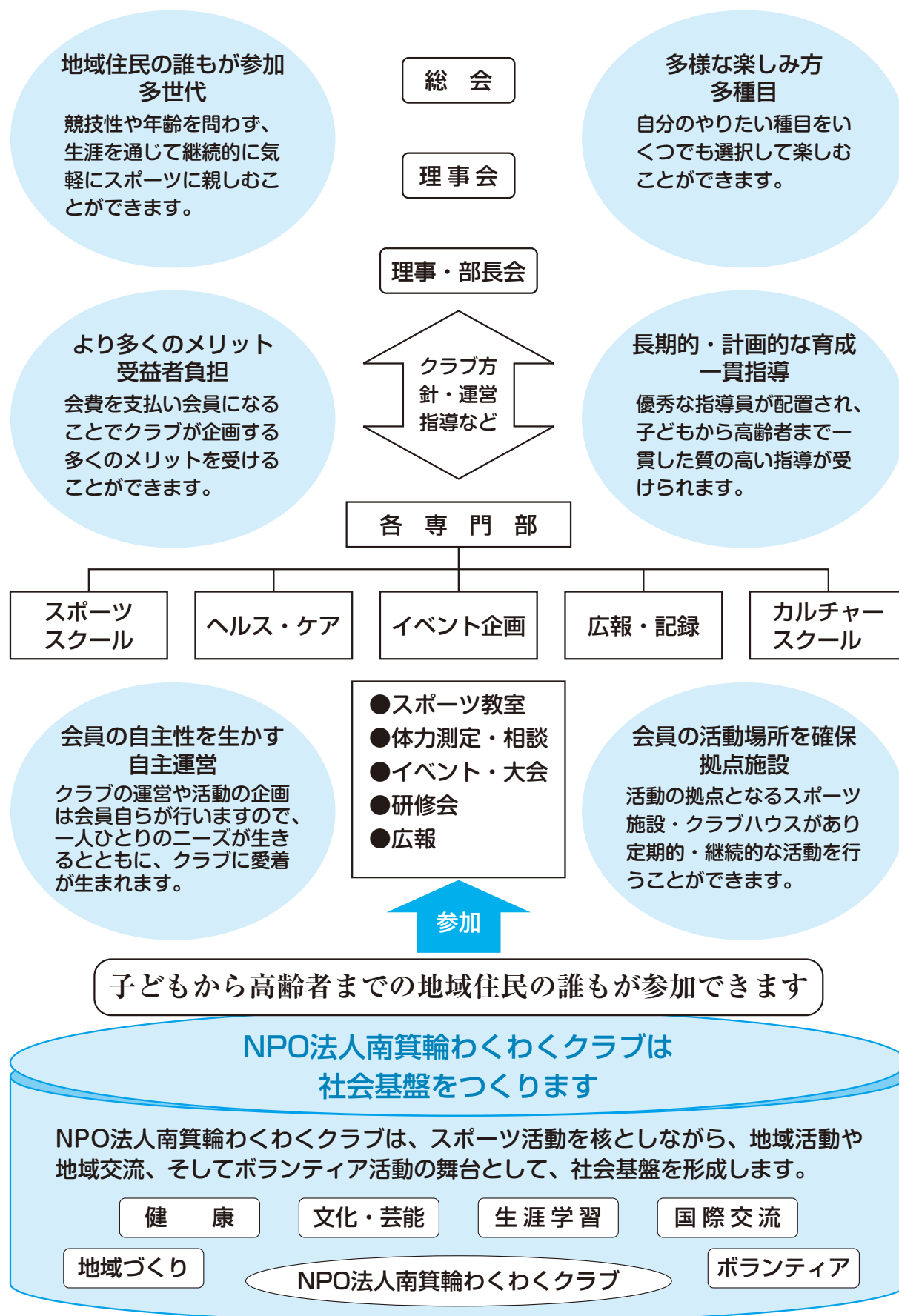
《目指す NPO 法人南箕輪わくわくクラブの姿》

NPO 法人南箕輪わくわくクラブは、地域住民が主体的に運営する地域住民のためのクラブです。将来的には、次のような特徴を備えたクラブの育成を目指します。

総合型地域スポーツクラブの特徴

- 多くのスポーツ種目が用意されている。
- 子どもから高齢者まで、また、初心者からトップレベルの競技者までの誰もが年齢、興味、関心、技術、技能レベルなどに応じて、いつでも活動できる。
- 活動の拠点となるスポーツ施設やクラブハウスがあり、定期的・継続的な活動を行うことができる。
- 質の高い指導者のもと、個々のスポーツニーズに応じた指導が行われる。
- 地域住民が主体的に運営する。

南箕輪村が目指す『NPO法人南箕輪わくわくクラブ』



(1) 支援体制の整備・充実

①広域スポーツセンターによる連携

県では、総合型地域スポーツクラブの育成・定着を支援する組織として県体育センターに広域スポーツセンターを設置しています。広域スポーツセンターでは、既に南箕輪村やNPO 法人南箕輪わくわくクラブに対し、普及・啓発、情報提供、ノウハウ提供、有資格指導者の派遣、クラブマネージャー養成など支援を行っていますが、今後も継続して支援が受けられるよう連携を図ります。

(2) 一体的な取り組みの推進

①地域ぐるみの取り組みの推進

クラブの育成にあたっては、地域のスポーツ活動の推進や住民ニーズに応じた多様なプログラムを準備することや、企画・運営、指導などに携わる人材、ボランティアなど多くのスタッフを確保することが必要です。

このため、地域住民はもとより、地域のスポーツ関係団体・組織、学校、民間、行政が一体となった取り組みを推進します。

②運営条件の整備

クラブの活動を活発に展開するためには、計画的に整備されたスポーツ施設や学校体育施設などを有効に活用することが必要です。

また、事務局や会員の集会などの場となるクラブハウスを確保することも求められています。このため、管理者の理解と協力を促します。

③法制度の活用

クラブが定着・発展していくために南箕輪わくわくクラブではNPO 法人を平成 15 年 5 月に取得しています。このことで組織及び運営体制が強化され、社会的信用が増大するだけでなく、施設管理の受託や進行事業の受託など、将来、クラブが大きく発展する道が開かれました。

今後、NPO 法人南箕輪わくわくクラブと村との連携のあり方を検討していきます。

【NPO 法人の解説】

NPO (Non Profit Organization) 「特定非営利活動法人」 とは

NPO 法 (特定非営利活動促進法 : 平成 10 年 12 月施行) により新たに制度化された法人です。NPO 法人は保健、医療又は福祉の増進、社会教育の推進、文化、芸術又はスポーツ推進、災害救援活動など、12 の分野に関して、非営利活動を行う目的として、10 名以上の正会員と必要な書類が整っていれば、認証されることとなっています。また、設立のための基金は、不要です。

総合型地域スポーツクラブがNPO 法人になれば、社会的認知が高まり公的支援が得やすくなる、公共施設の管理受託の道が開かれるなど、発展の可能性が大いに高まります。

2. 地域と連携した、学校体育・スポーツの充実

児童生徒の体育・スポーツ活動の充実と健全育成を図るため、
学校相互、学校と地域との連携を促進します。

21 世紀を担う児童生徒の健全育成、とりわけ、体力・運動能力の向上が極めて重要な課題となっています。

このため、学校体育・スポーツのあらゆる面でその向上に向けた取り組みを充実するとともに、運動好きな児童生徒を育成し、生涯にわたってスポーツに親しんでいく基本を培っていくことが大切となっています。

学校と地域が一体となって児童生徒のスポーツ活動を充実することが必要であり、このために地域のスポーツ活動との積極的な連携を推進します。

(1) 地域の指導者との連携

運動部活動における専門的・科学的指導の充実のため、資質と能力を有する地域の優秀な指導者の学校教育への活用を推進し、支援します。

なお、教科体育はもとより、運動部活も重要な教育活動であることを踏まえ、これらの指導に携わる地域の指導者が研修を受ける機会を設けるように努めます。

(2) NPO 法人南箕輪わくわくクラブとの連携

児童生徒の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ環境の充実に資するため、NPO 法人南箕輪わくわくクラブとの連携を推進し、個人や仲間で、また、運動部単位での積極的な参加を促進します。

このため、NPO 法人南箕輪わくわくクラブの運営・指導組織への学校関係者の参加を働きかけるとともに、学校の主体的な取り組みを促します。

《運動部活動と総合型地域スポーツクラブの役割》

運動部活動は、学校教育活動として重要な役割を担っており、今後とも充実に努めることが必要です。しかし、顧問の先生は、それぞれの競技種目の技術・技能・戦術等に精通している人ばかりでなく、また人事異動により長期的な係わりが持てないため、一貫した指導ができにくいのが現状です。

このようなことから、これからの運動部活動については、NPO 法人南箕輪わくわくクラブとの連携のもとに、新たな展開を図っていくことが求められています。

具体的には中学校においては、学校の特色や生徒のニーズを踏まえ、学校自らが主体的に展開できる運動部活動を充実させること、地域では NPO 法人南箕輪わくわくクラブを育成・定着していく中で、運動部活動の補完に配慮していくことが必要と考えます。

学校、地域がこのような取り組みを推進し、生徒が好みや適正に応じたスポーツに自発的、

主体的に取り組むことができる環境整備が求められています。

3. 高齢化社会に対応した、高齢者活動の促進

関係団体と連携し、高齢者が元気に暮らせる環境づくり施策を推進します。

- 高齢者が参加しやすいスポーツメニューを NPO 法人南箕輪わくわくクラブと連携し積極的に普及します。
- 高齢者がクラブ運営に携わったり、指導者として活躍したりできる環境を整備します。

4. 指導者の掘り起こしと資質の向上

住民のスポーツニーズに対応できる、指導者を積極的に掘り起こし、活用するとともに、質の高い指導者の育成に努めます。

- スポーツ指導者を地域住民の中から積極的に発掘し活用する場を整えます。
- スポーツ指導者の資格取得に向けての支援を行います。
- クラブマネージャー等、組織運営に携わる人材を育成・支援します。
- スポーツ指導者の資質向上のため、有効な研修会・講習会を開催します。

5. スポーツ施設の有効活用

施設・設備のリフレッシュを計画的に行い、利用促進につなげ、また住民のスポーツニーズに対応した施設について調査・研究します。

- 老朽化した施設・設備について計画的に改修を検討します。
- 小中学校体育施設について、学校体育施設開放を拡充します。
- 住民のスポーツニーズに対応した新規施設について検討します。
- 安全性を確保したスポーツ施設の整備・改修を行います。

6. 生涯スポーツ社会の実現に向けた普及啓発

生涯スポーツ社会の実現に向けて、
住民一人ひとりが自らの関心や体力に応じて、
スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる
普及啓発活動を実施します。

- スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる普及啓発活動を実施します。
- 生涯スポーツ社会の実現に向けた総合型地域スポーツクラブの意義や効果について、住民への普及啓発を行います。
- 生涯スポーツを通じて健康の保持増進に向けた取り組みについて、役場住民福祉課保健予防係、村社会福祉協議会、公民館などの関係機関との連携を強化し、スポーツの日常化のための普及啓発活動を行います。

生涯スポーツ社会の実現 ～ 南箕輪村スポーツ

重点方策

1. 総合型地域スポーツクラブの育成・定着 (NPO 法人南箕輪わくわくクラブ)

地域住民が身近なスポーツ施設で、気軽にスポーツを楽しむことができるクラブづくりをすすめます。

- ①支援体制の整備・充実
 - ・広域スポーツセンターとの連携
- ②一体的な取り組みの推進
 - ・地域ぐるみの取り組みの推進
 - ・運営条件の整備
 - ・法制度の活用

4. 指導者の掘り起こしと資質の向上

住民のスポーツニーズに対応できる指導者を積極的に掘り起こし、活用するとともに質の高い指導者の育成に努めます。

- ①地域スポーツ指導者の発掘
- ②指導者の資格取得に対する支援
- ③組織運営に携わる人材育成・支援
- ④資質向上のための研修会・講習会の開催

環境づくり

- ◇総合型地域スポーツクラブの育成・定着
- ◇スポーツ施設の整備と有効活用
- ◇学校体育施設の整備・利用促進
- ◇スポーツ施設予約システムの検討

基本方策

豊かなスポーツライフの創造 推進基本計画の概要 ～

2. 地域と連携した学校体育・ スポーツの充実

児童生徒の体育・スポーツ活動の充実と健全育成を図るため、学校相互、学校と地域の連携を促進します。

- ①地域指導者との連携
- ②NPO法人南箕輪わくわくクラブとの連携

3. 高齢化社会に対応した 高齢者活動の促進

関係団体と連携し、高齢者が元気に暮らせる環境づくり施策を推進します。

- ①高齢者向けスポーツメニューの普及
- ②高齢者の活躍できる環境づくり

5. スポーツ施設の有効活用

施設・設備のリフレッシュを計画的に行い利用促進につなげ、また住民のスポーツニーズに対応した施設について、調査・研究します。

- ①老朽化した施設・設備の計画的な改修
- ②学校体育施設開放の充実
- ③新規施設整備に関する検討
- ④安全性を確保したスポーツ施設の整備・改修

6. 生涯スポーツ社会の実現に向けた 普及啓発

生涯スポーツ社会の実現に向けて、住民の一人ひとりが自らの関心や体力に応じて、スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる普及啓発活動を実施します。

- ①スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる普及啓発活動
- ②総合型地域スポーツクラブの意義や効果について住民への普及啓発
- ③健康の保持増進に向けた取り組みについて住民への普及啓発

人づくり

- ◇スポーツ指導者の養成
- ◇スポーツ団体の育成・支援
- ◇住民一人ひとりのスポーツ意識の向上

プログラムづくり

- ◇参加機会の拡充
- ◇地域へのスポーツ交流の充実
- ◇スポーツボランティアの活用

第6章

施策概要一覧

＜重点方策では＞

1 総合型地域スポーツクラブの育成・定着

施策項目	施策概要
(1) 支援体制の整備・充実	
① 広域スポーツセンターとの連携	○広域スポーツセンターと連携の取れた環境づくり
(2) 一体的な取り組みの推進	
① 地域ぐるみの取り組みの推進	○地域住民、スポーツ関係団体・組織、学校、民間、行政の一体的な取り組みの推進
② 運営条件の整備	○公共スポーツ施設の NPO 法人南箕輪わくわくクラブに対する積極的開放 ○育成段階での運営に関する指導・助言
③ 法制度の活用	○ NPO 法人への情報提供・支援

2 地域と連携した学校体育・スポーツの充実

施策項目	施策概要
(1) 地域指導者との連携	
① 地域指導者の導入	○地域の優秀な指導者の学校教育への活用推進
② 指導者研修の充実	○教科体育・運動部活動に携わる指導者の研修の充実
(2) NPO 法人南箕輪わくわくクラブとの連携	○学校運動部活動単位での積極的な入会の促進 ○ NPO 法人南箕輪わくわくクラブ運営・指導組織への学校関係者の積極的参加の促進

3 高齢化社会に対応した、高齢者活動の促進

施策項目	施策概要
(1) 高齢者向けスポーツメニューの普及	○高齢者向けスポーツメニューの積極的普及
(2) 高齢者の活躍できる環境づくり	○組織運営や運動・スポーツ指導者への積極的な活用

4 指導者の掘り起こしと資質の向上

施策項目	施策概要
(1) 地域指導者との連携	○地域スポーツ指導者の積極的発掘と活用
(2) 指導者の資格取得に対する支援	○スポーツ指導者の資格取得に向けての支援
(3) 組織運営に携わる人材の育成・支援	○クラブマネージャー等組織運営に携わる人材の育成・支援
(4) 資質向上のための研修会・講習会の開催	○スポーツ指導者の資質向上のための研修会・講習会の開催

5 スポーツ施設の有効活用

施策項目	施策概要
(1) 老朽化した施設・設備の計画的な改修	○老朽化した施設・設備について計画的な改修の検討
(2) 学校体育施設開放の拡充	○小中学校体育施設の学校体育施設開放の拡充
(3) 新規施設整備に関する検討	○住民のスポーツニーズに対応した新規施設整備の検討
(4) 安全性を確保したスポーツ施設の整備・改修	○生涯スポーツを通じて健康の保持増進に向けた取り組みについて、役場住民福祉課保健予防係、村社会福祉協議会、公民館など関係機関との連携強化による住民への普及啓発活動

6 生涯スポーツ社会の実現に向けた普及啓発

施策項目	施策概要
(1) スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる普及啓発	○スポーツを生活文化として日常生活の中で行うことにつながる普及啓発活動
(2) 総合型地域スポーツクラブの意義や効果について住民への普及啓発	○生涯スポーツ社会の実現に向けた総合型地域スポーツクラブの意義や効果についての住民への普及啓発活動
(3) 健康への保持増進に向けた取り組みについて住民への普及啓発	○生涯スポーツを通じて健康の保持増進に向けた取り組みについて住民への普及啓発活動

《基本方策では》

1 環境づくり

施 策 項 目	施 策 概 要
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・定着	
①組織の充実	○NPO 法人の運営に対しての支援
②事業の充実	○住民ニーズに対応した事業展開に対しての指導助言
③会員の拡大	○会員の拡大に対する支援
(2) スポーツ施設の整備と有効活用	
①施設・設備の質的充実	○施設・設備の質的充実とリフレッシュ ○新たな施設整備のための調査研究及び整備の検討
②管理・運営体制の改善	○NPO 法人管理委託等、民間委託の拡大の推進
(3) 学校体育施設の整備・利用促進	
①施設・設備の質的充実	○小中学校体育施設の改修、整備の検討
②開放エリアの拡大	○学校体育施設開放の促進
(4) スポーツ施設予約システムの整備	○インターネットを活用したスポーツ施設予約システムの検討

2 人づくり

施 策 項 目	施 策 概 要
(1) スポーツ指導者の養成	
①地域スポーツ指導者の養成	○生涯スポーツ研修講座参加への支援 ○指導者研修会参加への支援
②有資格指導者の養成	○スポーツプログラマーなど有資格者養成のための支援
③スポーツ推進委員の資質の向上	○スポーツ推進委員の主体的活動促進と支援 ○県・地区・郡スポーツ推進委員研修会への派遣
(2) スポーツ団体の育成・支援	
①NPO 法人南箕輪わくわくクラブ	○国・県のクラブマネージャー養成講習会への参加促進と支援 ○NPO 法人南箕輪わくわくクラブ事業に対する支援と事務局体制の充実・強化 ○NPO 法人南箕輪わくわくクラブ活動に対する施設利用についての支援
②南箕輪村社会教育関係団体	○スポーツ活動活性化への支援 ○NPO 法人南箕輪わくわくクラブなど関係団体との連携促進
(3) 住民一人ひとりのスポーツ意識の向上	○多様な媒体を利用した情報提供の実施

3 プログラムづくり

施 策 項 目	施 策 概 要
(1) 参加機会の拡充	
①スポーツ大会・イベントの開催	○村民体育祭・村駅伝競走大会の充実 ○スポーツ大会・イベントの開催促進
②スポーツ教室の充実	○スポーツ教室の開催促進 ○高齢者活動プログラムの作成・普及
③全国大会などへの参加の支援	○全国・北信越・県大会等への参加の支援
④スポーツを通じた交流事業の促進	○他地域へのスポーツ交流の拡充
⑤スポーツを支える活動の促進	○スポーツボランティア活動の積極的な推進

南箕輪村スポーツ推進基本計画策定の経緯

年 月 日	調 査 ・ 協 議 内 容
平成 24 年 6 月 20 日	南箕輪村スポーツ推進審議会において「南箕輪村スポーツ推進基本計画」策定について提案し策定委員や策定計画について意見を聞く
平成 25 年 3 月 22 日	南箕輪村スポーツ推進審議会において「南箕輪村スポーツ推進基本計画」策定について提案し策定委員や策定計画について再度意見を聞く
平成 25 年 4 月 1 日	南箕輪村教育委員会から策定委員を委嘱し南箕輪村スポーツ推進基本計画策定委員会を設置
平成 25 年 7 月 31 日	第 1 回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
平成 25 年 8 月上旬	村民のアンケートに関する意識調査実施 アンケート配布
平成 25 年 9 月上旬	村民のアンケートに関する意識調査実施 アンケート回収
平成 25 年 9 月上旬 ～11 月下旬	村民のアンケートに関する意識調査実施 アンケート集計作業
平成 25 年 12 月 19 日	第 2 回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
平成 26 年 1 月 22 日	第 3 回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
平成 26 年 2 月 12 日	第 4 回南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会を開催
平成 26 年 2 月 27 日	南箕輪村スポーツ推進審議会に「南箕輪村スポーツ推進基本計画」(案) を報告
平成 26 年 3 月	南箕輪村スポーツ推進基本計画印刷
平成 26 年	公表・南箕輪村議会へ報告

南箕輪村スポーツ推進計画策定委員会

委員長 原 文明 副委員長 堀米 つね子

No.	氏 名	役 職
1	原 文明	NPO 法人南箕輪わくわくクラブ理事長
2	北原 満	NPO 法人南箕輪わくわくクラブ副理事長
3	徳武 由和	南箕輪小学校教頭
4	吉田 真由美	南部小学校教諭
5	北澤 克彦	南箕輪中学校教諭
6	堀米 つね子	南箕輪村スポーツ推進委員
7	堀内 彰	南箕輪中学校 PTA 会長

南箕輪村スポーツ推進審議会

会長 三澤 四郎 副会長 増田 雄二

No.	氏 名	役 職
1	三澤 四郎	識見者
2	原 文明	NPO 法人南箕輪わくわくクラブ理事長
3	澤田 道雄	わくわくクラブコーチングスタッフ
4	小澤 敏朗	わくわくクラブコーチングスタッフ
5	徳武 由和	南箕輪小学校教頭
6	藤澤 義富	南箕輪中学校教頭
7	増田 雄二	南箕輪村スポーツ推進委員会会長
8	松澤 美和	南箕輪村スポーツ推進委員副会長

庶 務

教育委員会	教育次長	田中 聡
	社会教育係長	埋橋 嘉彦
	社会教育係	伊藤 辰徳

